

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月23日(木)

事務事業		障害児母子通園事業		担当課	障害福祉課	担当係	給付係	管理番号	3317	
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	3	地域で支え合って生活できるまちづくり	根拠法令 個別計画等						
	小項目	3	障害者福祉の推進							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		在宅の心身障害児に対し、日常生活の基本動作の指導及び集団生活への適応訓練を実施するとともに、保護者の精神的支援を図るべく、障害児母子通園事業を実施する。 ※特定財源内訳は他市町から通園している母子の負担金を各市町に請求した金額。								
目的 ※何のために		心身障害児の発育・発達の促進及び保護者への支援								
対象 ※誰・何を対象に		在宅の心身障害児及びその保護者								
手段 ※どのように		心身障害児に対し、日常生活の基本動作の指導及び集団生活への適応訓練を行うと共に保護者の精神的支援を実施する。								
成果 ※何を求めるか		障害児の発育・発達が促されると共に、保護者の精神的支援や経済的負担の軽減が図れる。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)		
		一般会計	3	民生費	1	社会福祉費	1	社会福祉総務費	障害児母子通園事業	6,272,000
本事業の 主な業務		・母子通園施設業務委託(市単事業)					・			
		・					・			
		・					・			
		・					・			
		・					・			
		・					・			

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		母子通園施設業務委託の実施	母子通園施設業務委託の実施	母子通園施設業務委託の実施	母子通園施設業務委託の実施	母子通園施設業務委託の実施	母子通園施設業務委託の実施
事業費	予算(現額)	6,272,000	6,272,000	6,272,000	6,272,000	6,272,000	6,272,000
	決算額	6,272,000	6,272,000	6,272,000	6,272,000	6,272,000	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	844,319	1,185,964	1,076,160	488,736	298,000
		一般財源	5,427,681	5,086,036	5,195,840	5,783,264	5,974,000
人件費	従事職員数(人)	0.19	0.19	0.21	0.24	0.26	0.27
	人件費相当試算※	1,478,010	1,478,580	1,650,810	1,952,640	2,018,098	2,195,464
総事業費試算		7,750,010	7,750,580	7,922,810	8,224,640	8,290,098	8,467,464

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	開園日数（ポブラ）		目標値	日						
			実績値		223	230	226	229	223	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			年間開園日数のため目標は設定できない。/年間開園日数						
	実績値の算出式									
活動指標 2	理学療法士派遣回数		目標値	回						
			実績値		35	24	24	22	23	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			派遣回数実績のため目標は設定できない。 / 実績報告書						
	実績値の算出式									
活動指標 3	通園実人数		目標値	人						
			実績値		31	35	35	22	32	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			通園人数実績のため目標値は設定できない。						
	実績値の算出式									
成果指標 1	通園延人数		目標値	人						
			実績値		2278	1819	1960	1847	1493	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			通園人数実績のため目標値は設定できない。 / 年間通園延人数						
	実績値の算出式									
成果指標 2	理学療法士受診件数		目標値	件						
			実績値		158	135	131	116	132	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			受診件数実績のため目標値は設定できない。 / 年件数						
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	母子通園事業の業務委託の運営管理を適切に行い、十分な年間開園日数を確保することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	前年度と比較し、通園延人数は減少したが、理学療法士受診件数は増加した。
			評価者 給付係長 吉田 雅之

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	市内で児童発達支援を運営する社会福祉法人へ事業を委託することにより、効率的に母子通園事業を実施できた。
			評価者 給付係長 吉田 雅之

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	障害児母子通園事業	担当課	障害福祉課	担当係	給付係	管理番号	3317
<div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div>							

上記を実施するための具体的な取組内容は？

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

